

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 127	提案機関名 みうら漁業協同組合 金田湾販売所
<b>要望問題名</b> アラムの生息状況と漁獲圧による影響の調査(継続要望)	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 みうら漁協金田湾地区では、数年前からみづきによりアラムを漁獲しているが、アラムの漁獲による磯焼けの発生やサザエ・アワビなど磯根資源への影響が懸念されている。 水産技術センターには平成24年度から、当地区のアラムの生息状況と漁獲による影響を調査いただいているが、アラムの漁獲が引き続き行われていることから、再度提案し、今後も継続した調査をお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。(提案者は記載不要)

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	栽培推進部・ 企画資源部普及指導担当
<b>対応区分</b>	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)			
<b>対応の内容等</b> 水産技術センターでは、全国の事例について情報収集し、全国漁港漁場協会が作成した磯焼け対策ガイドラインに沿って効果を上げた優良事例に学びながら、本県各地先の状況に合った磯焼け対策の方法を提示できるよう検討を進めます。 また漁業者等が実施する磯焼け対策が効果を発揮するように、現場での技術的支援を行います。この一環として磯焼けの実態調査を実施していますのでご協力をお願いします。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			